

# リビン・テクノロジーズ調べ 「寝屋川市」が1位 関西圏売りたい街ランキング

不動産関連の比較査定サイトを運営するリビン・テクノロジー（東京都中央区、川合大無社長）は、「リビンマッチ不動産売却」に査定依頼のあった住所をもとに、関西地方の「売りたい街ランキング2019」を発表

した。査定依頼件数が多かった駅名を集計したところ、昨年2位の「寝屋川市」がトップとなった。大阪市内へのアクセスが良く、古い住宅地も多いことから売却を考えている人が多いと分析した。

2位は、通勤族に人気の北摂エリア「高槻」（前年7位）が昨年から順位を大幅に上げた。

高槻は、大型ショッピングセンターや商店街も充実し、大企業の工場も多く戸建て社宅などを含めて不動産の流動性が高いとする。

3位は、大阪府和泉市の「和泉中央」（前年6位）。年々世帯数が増加し、駅周辺の再開発によりマンションや戸建住宅、商業施設が充実して

おり、岸和田和泉IC近くにある商業施設周辺は造成されていない土地のほとんどをハウスメーカーが既に買い付けているとした。

また、和泉中央駅は南海高野線に乗り入れする泉北高速鉄道線の始発駅のため、大阪市内まで座って通勤・通学できる。

以下トップ10入りは、4位に「大久保」（前年6位）、5位に「香里園」（前年13位）と「東加古川」（前年圏外）が並び、7位「深井」（前年1位）、8位「西明石」（前年60位）、9位「長尾」（前年圏外）、10位「河内山本」（前年圏外）と「北大路」（前年66位）となった。